

## 卷 頭 言

学長 上田 祖 峯

駒沢学園は、道元禪師の禪を建学の精神とした、いわゆるわが国唯一の女子総合学園であります。行学一体の人格完成を特色とする教育目標を目ざして創立以来一貫して時代的社会的に即応する近代女性の育成を実践してきたのであります。とくに、坐禅はわれわれ人間に普遍的に具わっている仏性すなわち、根源的絶対的のちと本心真心の自覚と開発を促し知的学問や技術の活用を目ざして、調和のとれた心身一体の円満な発達を図り、慈愛深くゆたかな叡智を兼ね備えた最高の人格完成を育くむのであります。

本学園は、昭和二年（一九二七）、曹洞宗大本山永平寺によって、旧制駒沢高等女学校として創立されたのであります。以来、幼稚園、女子中学校、女子高等学校、女子短期大学を経営し、時代的社会的に即応する近代女性の一貫教育を行って今日に至っております。二一世紀は情報化国際化社会といわれ、さまざまな価値観の多様化する時代的国際社会に対応するため、本学園では、創立以来の禪の建学精神と伝統的輝かしい教育実践を活性化して駒沢女子大学を新設したのであります。名実ともに理想的女子教育の総合的一貫教育の体制を実現して、もつとも古くしてまた新しい禅文化に対する理解を深めるとともに自由な国際交流と国際社会に貢献できる国際感覚ゆたかな有能な近代女性の教育をダイナミックに展開して、二一世紀国際社会を責任をもって荷負うことのできる女性教育を目ざして精進努力して時代的国際社会の要請に応えたいと考えております。

国際人として活躍するには、日本文化を学ぶことを忘れてはならないのであります。

本学の設置しているのは人文学部、日本文化学科と国際文化学科の二学科であります。仏教学、禅学、各種外国語、文学、歴史学、

美術、芸能、生活文化の精髓をカリキュラムに集約して国際感覚ゆたかな有能な近代女性の育成に努めるとともに国境を超えたすべての人間の心と心の交流のできる全人格の修得を目ざしたいと考えております。

さまざまな異文化や新しい価値観の多様化する国際社会に対応するため私たち学園関係者は心をつちにして、創立以来の建学精神と伝統的な輝しい教育実践の経験を活性化して、本学の充実発展を願って努力することが何よりも大切なことであります。

今や大学は教育と研究とともにその中身と特色を問われる時代であります。期待されている大学の自己点検と評価が最大の今日的課題であります。